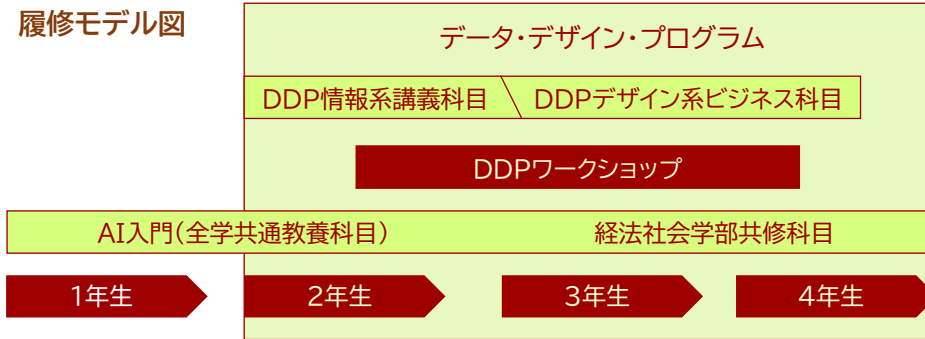




履修モデル図



DDPサイトはこちら



<https://hddp.jp/>

カリキュラムの理念

商学部にデータ・デザイン・プログラムを設置する目的は、技術とビジネスを“情報（データ）”と“デザイン”で連結できる新しいタイプの経営者（デザイン経営者）を育成し、“イノベーション人材”を輩出することです。その柱として、コンピュータ・サイエンスとデザイン思考を融合したカリキュラムを構成する点に独自性を持っています。具体的には、デザイン系科目（UX、マーケティング・コミュニケーションなどを含む）、情報学・コンピュータ・サイエンス／プログラミング系科目（AI、IoT、Big Data等を含む）、そしてチームで実務課題に取り組むワークショップを用意しています。また、芸術系大学や民間企業と連携した講義やシンポジウム、イノベーション・デザインで先進的な海外の大学への留学機会などを提供し、グローバルレベルで通用する人材育成を目指します。本プログラムは2年生を対象とする30名程度の選抜制の特別プログラムです。商学部以外の学部生も受け入れる学部横断型の構造を持っています。2年生から4年生までの3か年で構成されます。修了者にはサーティフィケートが授与されます。

主な講義

情報科学基礎

情報技術は社会に埋め込まれており、世界中の市民は、情報技術の成果を活用して生活を行っている。市民による情報の取り扱い、コンピュータ上に構成されたユーザーインタフェース（例：表計算ソフトやワードプロセッサ）を通じて行われており、学生の多くは既に情報の扱いに習熟していることだろう。しかし、それら情報を社会に対して提供するシステムの原理や構成に関する知識がなければ、より複雑な情報システムの理解や活用を行うことは困難である。本科目では情報科学の基礎を習得することで、より発展的な情報科学の科目や、情報に関する経営的科目の学習の準備状況を高めることを目標とする。

デザインの基本

本講義の目的は、「どのようにすれば知識や関心の全くなかった人にデザインを身につけさせることができるのか？」ということである。多摩美術大学教授の永井一史（HAKUHODO DESIGN代表取締役社長）が、多様な実務家をゲストとして招いて講義を構成する。本講義でのデザインとは、製品/サービス全体やそのユーザー接点を設計する行為全般を指す。何故デザインを学ぶのか？それは、魅力的な製品/サービスによってユーザーにとっての価値が変わり収益性や企業経営が大きく左右されるからである。また新しい事業を発想する創造性教育としてもデザインは重要である。

デザイン思考とデザイン経営

「デザイン思考」と「デザイン経営」の「なぜ」を理解することに主眼を置く。ビジネス、政策の現場での流行語の一つとなっているこの2つの考え方について、その実践例や実践手法についてはたくさんの情報が溢れている。しかし、それがなぜ有効なのかはほとんど探求されていない。この講義では「デザイン思考」「デザイン経営」の一步先を歩むことになるであろう皆さんが、その方法を考えていくための理論的な手がかりと、考える素材を提供する。

2年次ワークショップ

本ワークショップでは、履修生がいくつかのグループを形成し、自ら課題を発見し、その解決の提案や提案を具現化するためのプロトタイプングを行うことを通じ、課題解決能力を育成していく。その実施においては、データの活用と、デザインの発想の活用を重視する。また、本授業を通じて、課題発見から課題解決までの一連の流れを理解し、その実施に向けた基礎的能力を身に付けることを目的とする。

■ 修了要件

- [1]** 商学部に設置するプログラムとし、期間は2年次から4年次までの3年間とする。
- [2]** 修了要件は、DDP科目群から必須科目16単位、選択科目10単位、計26単位を取得することとする。修了者には、卒業時に商学部長から修了証が授与される。
- [3]** 留学や休学等による履修の休止は可とする。留学先で履修した科目との単位互換はありうるが、本プログラムの修了要件には含めないものとする。

■ 第1期生の声

久手くん

家電や家具など、人々の住環境に密接に関わる分野を変えたいです。

佐藤くん

みんなが前向きに毎日を過ごせるような社会にする。

小山さん

先人の知恵・最先端テクノロジー・人の意志が共存する社会：先人たちの利便さの追求が現代社会の課題につながったという側面もあるが、その過去を否定するのではなく、最先端テクノロジーを高い倫理観のもとで運用しこれらの課題を解決することでさらなる社会の発展を目指す。

■ 連絡先

Mail : ddp-info@cm.hit-u.ac.jp

〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学

第2研究館1階106 商学研究室
長谷部 Tel 042-580-8561

第2研究館7階709
データ・デザイン・プログラム事務局
和氣・肥後 Tel : 042-580-8727

■ 3期生:2023年度開始(予定)

◆ 出願要項の公開

2022年11月下旬

◆ 出願期間

2022年12月下旬～2023年1月中旬

◆ 第1次審査(書類選考)

2023年1月中旬

◆ 第2次審査(面接試験)

2023年1月下旬

◆ 最終合格者の発表

2023年2月中旬

■ 募集要件

- [1]** 募集人数は約30名とし、全学部1年生が応募可能とする（合格者の目安はおよそ3分の2（20名）を商学部生、3分の1（10名）を他学部生と想定する）。
- [2]** 選考は提出書類に基づき第1次審査（書類選考）を行い、第1次審査合格者を対象に第2次審査（面接試験）を行う。提出書類、面接試験、成績を総合して最終合格者を決定する。
- [3]** 提出書類は参加願および志望理由書（エッセイ）とする。推薦書は不要とする。
- [4]** Shibusawa Scholar Programや、他学部GLPプログラムとの併願は不可とする。